



2014年11月4日

各 位

会社名 ユニチカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 注連 浩行
 (コード番号 3103 東証第一部)
 問合せ先 経営管理室長 杉澤 滋
 (TEL 06-6281-5695)

第2四半期(累計)連結業績予想の修正、営業外収益(為替差益)・特別損失
 の計上及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2014年3月期決算発表時(2014年5月13日)に未定としておりました2015年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につき、今般予想値を得ましたのでお知らせいたします。また、2015年3月期第2四半期において、営業外収益(為替差益)及び特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しを行うこととしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2015年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2014年4月1日~2014年9月30日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2014年5月13日発表)	—	—	—	—	円 銭 —
今回修正予想(B)	77,600	3,100	2,100	△22,000	△38.14
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2014年3月期第2四半期)	78,307	3,119	2,255	1,648	2.86

修正の理由

前期決算発表時において、未定としておりました2015年3月期第2四半期(累計)連結業績予想について、今般予想値を得ましたので、お知らせいたします。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益はおおむね前年同期並みとなる見込みですが、新中期経営計画における事業ポートフォリオ改革に伴う特別損失などを計上いたしますので、四半期純損失は約22,000百万円となる見込みです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、前回発表どおりといたします。今後の業績の推移に応じて、修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 営業外収益（為替差益）の計上について

2015年3月期第2四半期連結累計期間におきまして、急激な為替相場の変動により、連結決算で約7億円、個別決算で約7億円の為替差益を計上する見込みです。

3. 特別損失の計上について

2015年3月期第2四半期連結会計期間において、以下の特別損失について計上する見込みです。

① 事業構造改善費用

事業ポートフォリオ改革に伴い、当社及び当社グループの豊橋事業所に係る固定資産に関する減損損失など、事業構造改善費用を連結決算で約190億円、個別決算で約49億円を計上する見込みです。

② 減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社及び当社グループの保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当社の坂越事業所に係る固定資産などについて、連結決算及び個別決算で約16億円の減損損失を計上する見込みです。

③ 個別財務諸表における貸倒引当金繰入額及び関係会社事業損失引当金繰入額

当社の個別財務諸表におきまして、子会社の事業構造改善等に伴う貸倒引当金繰入額を約26億円、関係会社事業損失引当金繰入額を約10億円計上する見込みです。当該引当金繰入額は、いずれも連結決算上消去され連結決算予想には影響ありません。

4. 繰延税金資産の取崩しについて

前記特別損失の計上を含め今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産につきまして2015年3月期第2四半期連結会計期間において、連結決算及び個別決算で約11億円をそれぞれ取り崩し、法人税等調整額に計上する見込みです。

<業績等の予想及び計画に関する注意事項>

本資料における業績等の予想及び計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後の様々な要因により、業績等の予想及び計画と異なる可能性があります。

以 上